

【山崎名誉主宰の俳句】

お元日

山崎 聰

きようからは東京住まい真桑瓜
みちのくへ東京は秋霖のなか
公園の入口さむし峡はなお
雪降りしきり青函連絡船の甲板デッキ
さむい夜あたたかき人むこうから
雪おろし替わり信濃の村はずれ
初日の出山に登って彼を待つ
お元日東京の空はぐれ雲
みちのく雨東京も雨二日かな
山さびし白山茶花の白はなお